

一般社団法人全日本機密文書裁断協会 第九期（2022年度）事業計画【案】

方針

会の知名度向上および裁断サービスの普及に取り組むため、第九期（2022年度）の広報活動は、裁断サービスの見込ユーザーや利用意欲が高いユーザーへのアプローチ手法として、「リスティング広告」の新規展開を図ります。本施策は全国のブロック会ごとに予算上限を按分し、本会ホームページ（以下、HPという。）へのアクセス数アップにより集客効果を高め、会員各社への送客率向上を目指します。これまで展開してきたHPのコンテンツ強化策に加え、「リスティング広告」による地域ごとの傾向についてアクセス解析の検証を基に、検索キーワードの最適化を図ります。会員各位にご協力をいただきHPの人気ページであります「会員ブログ」は、テーマを新たに3巡目を計画いたします。前年度に展開できなかった「会員アンケート機能実装」・「プレスリリース」を本年度に移行し計画します。

業務品質向上委員会は、更なる業務品質の向上を目指すため、会員各社が提供する裁断サービスの「顧客満足度調査」を実施し、満足度や期待度の分析を行い、サービス内容の改善や課題解決に取り組めます。

研修勉強会は、前年度に発足した研修勉強委員会を主体に、第六期（2019年度）会員各社より好評を得た「グループディスカッション」をWeb方式により開催を計画いたします。

これまで実施してきた「表彰制度」・「ブロック活動助成金制度」・「カーボンオフセット」および「環境保護活動等」の各種事業を継続し、機密文書裁断に関する事業の振興と、社会への貢献を推進いたします。今年度も、本会の目的である、紙材等の資源が有効に再利用される循環型社会の実現及び、市場へ機密抹消の必要性和環境配慮の取り組みの必要性を訴求し、情報の抹消を依頼する方々の信頼に応えられる全国組織として、会員・協会の活性化を図ります。

1. 裁断業務の品質対策

（1）定例研修勉強会の実施

機密文書の裁断事業に求められる知識と実務能力の向上の場として、取り巻く環境や地域的な特性等の実践的な内容に関する実務者を対象とした研修勉強会を計画する。また、会員間の活発な意見・情報交換の場として、Webを活用した「グループディスカッション」を実施し、会員間の更なるネットワーク構築を図る。

（2）表彰制度

情報漏洩防止と、環境に対する意識向上及び取り組みの推進を目的に、会の発展に寄与もしくは社会貢献活動に積極的に取り組んでいる会員企業の表彰を行う。

（3）業務品質向上委員会の運営

今年度の業務品質向上委員会は、会員各社が提供する裁断サービスの「顧客満足度調査」を行い、満足度や期待度を分析し、裁断サービスの改善点や課題解決を探り、更なる業務品質の向上を目指す。本施策遂行のため会員各社のご協力を得、ユーザーの声をアンケート方式により展開を図る。有益な情報を協会全体で共有し、確かな「技術」「品質」を提供することにより、市場に選ばれる本会「裁断サービス」のブランド力強化を目指す。

（4）会員企業間の連携強化

会員企業間の連携強化を図るため、今年度もブロック活動助成金制度を継続する。前年度と同様、1ブロック会の助成金上限額 10万円を原則とするが、地域展示会の出展等による「会の知名度向上」および「裁断サービスの普及」に取り組むブロック活動費が10万円を超える場合については、申請

内容を理事会で審議の上、賛否を決定することとする。会の情報交換や交流を深めることで、文書裁断サービスの全国組織として、その連携機能を最大限に活かし、サービスの品質向上と本会更には業界の活性化に結び付ける。

2. 広報宣伝活動

今年度の広報活動は、裁断サービスの見込ユーザーや利用意欲が高いユーザーへのアプローチ手法として、「リスティング広告」の新規展開を図る。本施策は全国のブロック会ごとに予算上限を按分し、本会ホームページへのアクセス数アップにより集客効果を高め、会員各社への送客率向上を目指す。これまで展開してきたHPのコンテンツ強化策と、「リスティング広告」による地域性や傾向等を踏まえ、アクセス解析の検証を基に検索キーワードの最適化を図る。会員各位にご協力をいただきHPの人気ページである「会員ブログ」は、テーマを新たに3巡目を計画する。前年度に展開できなかった「会員アンケート機能の実装」により協会運営や各事業の改善に生かし、「プレスリリース」によるサイトパフォーマンスの向上を目指す。本事業展開により会員各社への送客率、問い合わせ件数を向上させ、裁断サービスの普及活動並びに会の知名度向上に取り組む。

3. 組織力の強化

組織の充実・強化を図るため、賛助会員制度を活用し、協会事業の目的に賛同し事業に協力・支援をいただける企業に対して全会員が加入推進に努める。

4. 環境保護活動の推進・貢献活動の実施

(1) 文書リサイクルの促進

資源保護の観点から、文書裁断サービスの必要性を訴求し、事業を適正に推進することで、紙資源のリサイクルを促進し、循環形社会の実現に寄与する。

(2) カーボンオフセットの継続実施

機密文書の裁断サービスは、ご利用の際のエネルギー消費によって、二酸化炭素がやむなく排出されてしまうため、「カーボンオフセット」に取り組み、二酸化炭素をオフセットすることで、より環境に配慮した安心・確実なサービスを提供する。また、外部環境の変化により、これまで展開してきた「カーボンオフセット」の取り組みから、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル」への転換を見据え、会員各社の知恵・知見を活かし課題解決に取り組む。